

「もっとおいしい給食プロジェクト」 児童・生徒にもっと喜ばれる学校給食の実現のために、さらなる給食の質の向上に取り組むもの

現在までの取組み

学校給食の質の向上に向けての課題やニーズを把握するため、児童生徒や栄養教諭など給食現場へのアンケートを実施し、また、食に関する民間の方からもアイデアをいただいた。
また、2学期以降、見た目や満足感の向上のため、食材の増量や追加、彩りや質の向上を献立に反映させた。

【7月】 児童生徒・保護者へのアンケートを実施

回答数：[小]16,342人 [中]4,847人 [特支]204人

Q.学校給食の満足度はどのくらいですか。

「満足」「まあまあ満足」と回答した割合

学校	児童生徒	保護者
小学校	84.0%	82.5%
中学校	79.2%	83.7%
特別支援学校	86.8%	88.0%

Q.今後、どのような給食が嬉しいですか。（児童生徒）

小学校（児童16,235人回答）

- 1.デザートやフルーツの回数を増やす
- 2.献立の種類を増やす
- 3.量を増やす
- 4.品数を増やす
- 5.地元食材の使用を増やす

中学校（生徒4,847人回答）

- 1.デザートやフルーツの回数を増やす
- 2.献立の種類を増やす
- 3.量を増やす
- 4.このままでいい
- 5.地元食材の使用を増やす

【7・8月】 食に関する民間の方による意見交換会を実施

メンバー7名：大学准教授・料理人・料理研究家・JA・漁協・調理委託事業者

<主な意見>

- ・味や量は満足 ・彩や見た目を工夫する ・デザートやフルーツの回数を増やす
- ・魚料理の工夫 ・地産地消の推進（地元産の野菜・魚・加工品）
- ・スチームコンベクションオーブンや真空冷却機を整備
- ・たまには飲料が牛乳以外の日があってもいいのでは
- ・給食の背景（生産者・調理過程など）を広報・PRする など

【2学期以降】 実施内容（献立・予算）

- ・給食食材の価格が高騰している中、9月補正予算にて食材料費の物価高騰分の予算を確保
- ・食材の増量や追加彩りの向上 ・食材の質向上 ・デザートの提供回数の増加

【9月】 栄養教諭や調理業務員、調理委託事業者と協議やアンケートを実施

<主な意見>

- ・おかずを1品増やしたり、夏季にサラダを提供するために新たな機器を導入する
- ・献立の幅を広げる ・福岡の食材を使用 ・食育の更なる充実 など

今後の取組み

様々な視点からの意見を踏まえ、学校給食の質の向上のため、次のことに取り組んでいきたい。

献立の工夫

献立の充実

- 小学校のおかず2品→3品の日を増やす
- 「焼き・蒸し」調理を含めた多彩なメニューの提供
 - ▶ スチームコンベクションオーブンの整備が必要（小学校全校）
- 夏場にサラダや和え物を提供
 - ▶ 真空冷却機を整備が必要（小学校全校）

献立の組み合わせの見直し

- 和食の献立の日や郷土料理の献立の日を設定し、組み合わせを見直し[月1、2回]（飲み物を牛乳からお茶に代える等）

地産地消の推進

- JA・漁協と連携し、市内産農水産物の更なる取り入れ（能古島甘夏ゼリー・姪浜味付けのりのような市内産農産物を利用した加工品の拡大等）
- 生産者との交流などにより、児童生徒の理解を深める

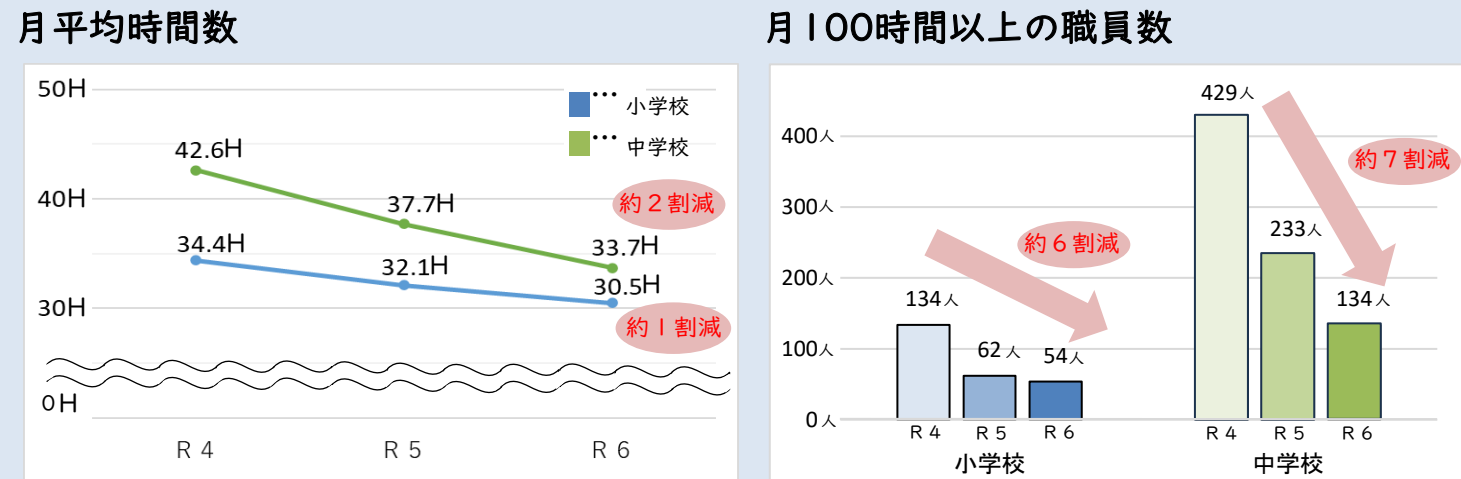
広報・PR

- ホームページ等を活用し、調理過程など給食現場の様子を積極的に広報
- 給食レシピの提供や、給食食材の一般販売など、家庭で給食を再現できるような仕組み

1 現状と課題

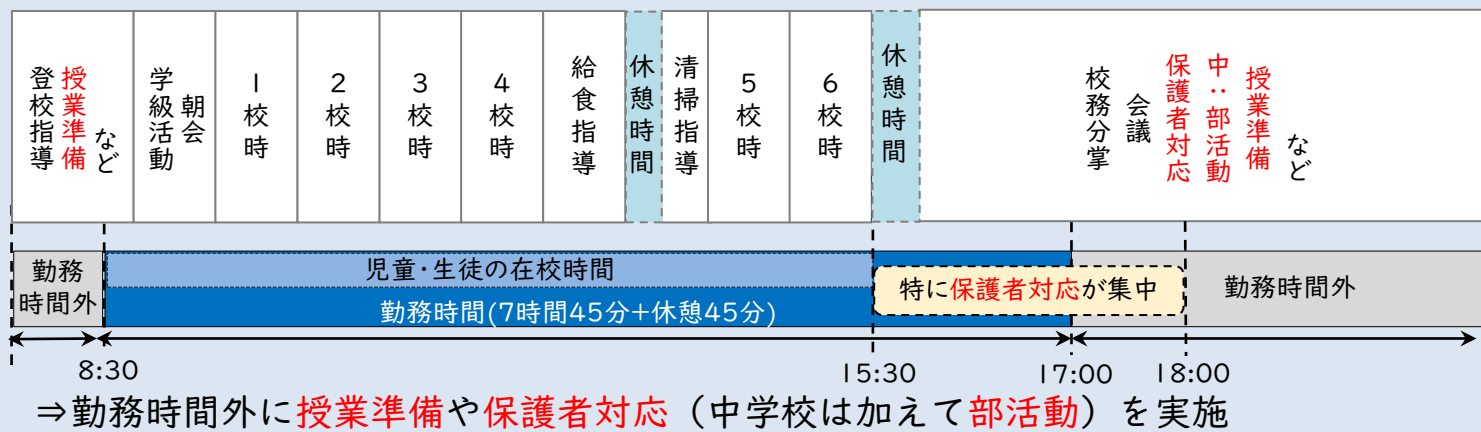
H30以降、「学校における働き方改革プログラム」を策定し、支援スタッフの配置・拡充など、66項目の取組みを実施してきたところ。

◆ 教職員の勤務実態（時間外在校等時間）



⇒ 時間外在校等時間は**一定程度改善**しているものの依然として**長時間勤務の教員は多い**

◆ 教員の一日（例）



2 学校現場の意見

○ 教職員アンケート・意見交換会における主な意見

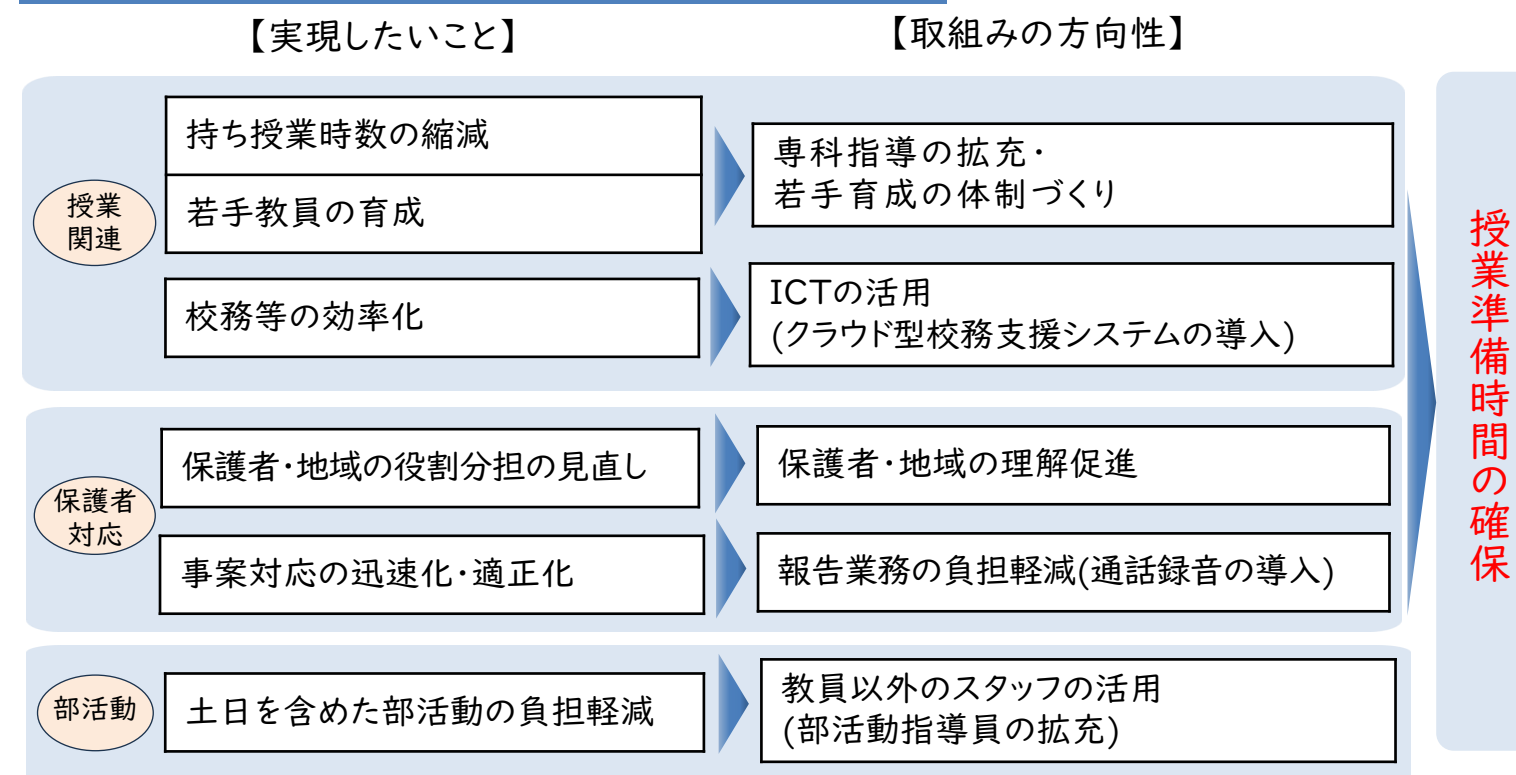
- 授業関連**
 - ・持ち授業時数が多く、勤務時間中に授業準備の時間を確保できない
 - ・経験の浅い**若手教員**が増加しており、授業力向上の取組みが必要
- 保護者対応**
 - ・放課後等の**電話対応**に忙殺、**過剰なクレーム**や**事案対応**等に疲弊
 - ・校外での**トラブル**など、対応を求められることが多岐にわたる
- 部活動**
 - ・大会運営を含めた**土日における活動の負担**が大きい
 - ・**顧問を希望する教員が減少**（顧問従事率 R4:88.6%→R7:69.8% ※減少傾向）
- （その他）
 - ・仕事に**やりがい**はあるが、**ワーク・ライフ・バランス**が取りづらい

このほか、いじめ・不登校の増加、特別支援教育への対応、家庭・地域の状況の変化など、学校が対応する**課題が複雑化・困難化**している。

3 これからの取組み

教員の **勤務環境を改善** し、 **授業準備時間の確保** を実現することで、
教員の **働きやすさと働きがい** を両立

◆ 想定される主な取組み



※ 国の示す指針等も踏まえ、次期プログラムに具体的内容を盛り込む
教員業務の一層の適正化・効率化により
生み出した時間で授業の質を向上していく

◆ 授業改善の取組み

児童生徒が**自ら考え、判断し、行動し、結果や過程を振り返る**

自律的な学び についての研修・研究

各学校の研究のテーマ

- 自己選択・自己決定しながら学び続ける児童を育てる学習活動の研究
 - 生徒の自律を促す教育活動の研究
 - 教育の質の向上に資する柔軟な教育課程編成の研究 etc
- ⇒ 検証・分析等を行うとともに、先生応援サイトでの情報共有

